

底質放射性ストロンチウム分析結果

各県における1回目調査で、底質の放射性セシウムの値が比較的高かった地点等の底質について、放射性ストロンチウムの測定を行った。

その結果、ストロンチウム 90 (Sr-90) は 0.4 ~ 6.8Bq/kg の範囲にあった。

事故以前に全国で観測されていた Sr-90 の測定値 (土壌試料): 0.20 ~ 14Bq/kg (乾)

(出典: 平成 21 年度環境放射能水準調査結果総括資料

(平成 23 年 8 月財団法人日本分析センター))

また、参考として測定したストロンチウム 89 (Sr-89) はいずれの地点も検出限界値 (2 Bq/kg) 未満であった (Sr-89 については、標準線源が入手できなかったため参考値。)

底質放射性ストロンチウム分析結果一覧

県名	水域名	地点名	試料採取日	(再掲) 採泥深 cm	(再掲) 含泥率 %	(再掲) 性状	底質			
							放射性セシウム(再掲)		放射性ストロンチウム	
							Cs-134 Bq/kg-dry	Cs-137 Bq/kg-dry	St-90 Bq/kg-dry	Sr-89 ^{*1} Bq/kg-dry
宮城県	河川	49 七北田川高砂橋	10月14日	5	54.0	砂混シルト	5,000	6,100	1.1	ND ^{*2}
		77 阿武隈川阿武隈大橋	10月8日	5	81.0	砂	44	47	0.4	ND ^{*2}
	湖沼	97 七ヶ宿ダム	10月6日	10	34.1	シルト	960	1,200	1.6	ND ^{*2}
福島県	河川	7 真野川真鳥橋	9月16日	10	30.1	シルト	13,000	15,000	3.0	ND ^{*2}
		14 太田川益田橋	9月16日	5	47.3	砂混シルト	27,000	33,000	4.1	ND ^{*2}
		69 五百川上関下橋	9月16日	5	46.1	シルト	10,000	12,000	3.3	ND ^{*2}
		71 阿武隈川高田橋	9月15日	10	43.9	シルト	14,000	16,000	3.4	ND ^{*2}
		81 松川阿武隈川合流前	9月17日	5	79.8	礫混砂	7,000	8,200	1.2	ND ^{*2}
		85 阿武隈川大正橋	9月17日	5	61.7	礫混砂	6,400	7,800	1.8	ND ^{*2}
		101 旧湯川栗ノ宮橋	9月28日	5	40.0	シルト	5,900	7,100	1.9	ND ^{*2}
	湖沼	116 松ヶ房ダム(宇田川湖)	9月28日	10	27.6	シルト	10,000	12,000	4.2	ND ^{*2}
茨城県	河川	30 那珂川下国井	9月12日	10	36.7	砂混シルト	2,500	3,000	1.6	ND ^{*2}
		湖沼	99 霞ヶ浦湖心	9月12日	12	16.6	シルト	81	140	3.3
	湖沼	105 牛久沼	10月5日	10	19.9	シルト	850	990	0.7	ND ^{*2}
栃木県	河川	39 板穴川末流	10月9日	3	61.0	砂	2,200	2,700	1.3	ND ^{*2}
	湖沼	110 五十里ダム	10月18日	10	34.8	シルト	1,900	2,500	1.3	ND ^{*2}
群馬県	河川	44 小黒川萱野橋	12月7日	5	77.6	礫混砂	140	200	0.7	ND ^{*2}
	湖沼	54 藤原ダム	12月1日	10	31.0	シルト	2,000	2,600	2.0	ND ^{*2}
千葉県	河川	8 大堀川北柏橋	11月1日	3	77.6	礫混砂	4,300	5,400	1.1	ND ^{*2}
	湖沼	45 手賀沼根戸下	11月1日	5	29.0	シルト	1,500	1,800	1.4	ND ^{*2}

*1: Sr-89については、標準線源が入手できなかったため参考値。

*2: ND (検出下限2Bq/kg-dry)